



# 地域とともに、お客様とともに。

J.フロント リテイリングは、企業市民として、地域の活性化や社会のさまざまな課題の解決に貢献するために、グループ企業の資産を活かし、事業活動を通じた取り組みを行っています。

## ① 地域活性化への貢献

当社が進めるアーバンドミナント戦略は、店舗を核に、エリア全体の魅力化に取り組み、「地域とともに成長するビジネスモデル」です。当社の戦略を進めることそのものが、地域の集客力向上や地域貢献につながる取り組みです。

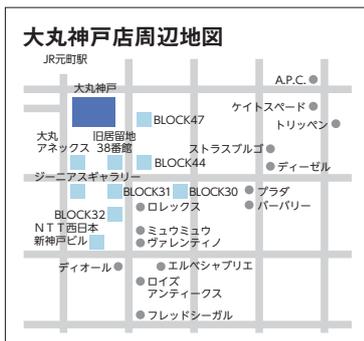
※GINZA SIX、上野フロンティアタワーについてはP26・27をご参照ください。

### ●大丸神戸店の周辺店舗開発

大丸神戸店では、約30年前の1987年から周辺店舗開発を進めています。歴史的に外国人居留地として発展してきた神戸元町の異国情緒がたどる建物に最先端のファッションブランドを誘致し、



地域への集客力を高めています。今では周辺店舗の数は約60店舗となり、ショッピングと観光が融合した街として、



広域から集客しています。2017年3月には、世界初の春開催となる、「ヴォーグ」のショッピングイベント「ヴォーグファッションズナイトアウト」を開催するなど、旧居留地の魅力を活かしたイベントも定期的に開催しています。

### ●京都・町家プロジェクト

2016年に、大丸は創業300周年記念企画として「大丸京都店 祇園町家」をオープンさせました。古都の風情が漂う祇園において、老朽化する町家を再生し、「伝統」と「革新性」

を併せ持つ京都にふさわしいショップとしてラグジュアリーブランドを展開しています(2016年11月～17年7



大丸京都店祇園町家(ウブロプロテック京都)

月までエルメス、17年8月からはウブロ)。町家の保存・活用は、その歴史的価値の継承、ひいては街の活性化への貢献につながり、地元京都をはじめ国内外の皆様から高い評価をいただいております。

### ●地産地消の提案

地域の生産品をその地域で消費する「地産地消」は、地域経済の活性化につながります。また輸



山口県産品の地産地消をおすすめる催事(下関大丸)

送距離が短いため、輸送や保冷に伴うCO2の排出が少なくなるなど、環境への負荷も小さくなります。大丸・松坂屋各店では食品や衣料品、工芸品など幅広い商品について、フェアを開催し、拡販に取り組んでいます。

## ② 子育て世代の課題解決への貢献

当社は子育て世代の不安・不満の解消を目指し、教育の充実と長時間保育を両立させた認可外保育施設の運営に参入しました。「知育」だけでなく「運動」、そして「英語」を身につけるカリ

キュラムを提供するため、(株)やる気スイッチグループホールディングス傘下の(株)拓人こども未来と提携し、



フランチャイズ方式で園の運営を行います。第1号園は2019年4月、横浜市青葉区に「Daimaru Matsuzakaya Kids Duo International 青葉台」として開園予定です。

### ③お客様の安全・安心への貢献

#### ●お客様相談室の運営

大丸、松坂屋では、「消費生活相談コーナー」において消費生活アドバイザーの資格を持つコンサルタントがお客様からの



商品の品質に関するお申し出を承ります。お客様からのお申し出内容はオンラインで消費科学研究所に送られ、品質について科学的に検査されます。その結果はコンサルタントを通じ、お客様に報告されます。また、再発防止のために、各店やお取引先メーカーにも試験結果を伝え、品質の改善につなげています。

#### ●流通業の品質プロフェッショナル「消費科学研究所」

消費科学研究所は、大阪、東京、名古屋の3か所があり、商品性能や苦情原因を究明するための試験、商品表示・販促媒体表現の関係法令に基づいた確認などのほか、品質管理全般に関わるコンサルティングや研修・セミナーを行っています。

同研究所はJFRグループ企業に対して、販売前の事前検査や商品表示の店頭チェック、食品売場やレストランの衛生検査を行うほか、販売に供される様々な商品アイテムの品質検査や包装紙やショッピングバッグなどの耐荷重検査、染色堅牢度検査など商品を使用した時の安全性を確保するための様々な検査も行っています。

#### ●安全・安心な店舗環境づくり

百貨店などの店舗、事務所などでは、地震や火災発生時に備えて、自衛消防隊を組織し、防災訓練やBCP訓練※を実施しています。また、緊急地震速報システムや、全従業員への安否確認システム、衛星携帯電話の導入など、システム面でも整備を進めています。店舗の自衛消防隊は、迅速に消火活動や顧客避難誘導、情報収集など適切な対応が確実に実施できるよう、お取引先様を含む勤務者全員参加の訓練を定期的に行っています。また、百貨店を中心にAED(自動体外式除細動器)を設置し、従業

員へ使用訓練を継続的に実施しています。

※BCP＝災害時に事業継続又は早期復旧させるための計画

### ④お客様とともにを行う社会貢献活動

J.フロント リテイリングでは、事業活動を通じて、お客様とともに行う社会貢献活動に継続的に取り組んでいます。

大丸・松坂屋の各店舗を中心に回収した不要なペットボトルのキャップをNPO法人「Reライフスタイル」を通じてリサイクルし、その対価を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に全額寄付することで、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動を実施しています。2009年12月の取り組み開始以来キャップ回収とその他の活動による寄付をポリオワクチンに換算すると、2018年5月に26万人分に達しました。その他にも乳がん・前立腺がんの早期診断、発見、治療を促す「ピンクリボン運動」「ブルークローバー運動」や、開発途上国の子供たちに給食支援を行う「TABLE FOR TWO」、東日本大震災、熊本地震への支

援など、さまざまなチャリティ支援を行っています。



ブルークローバーキャンペーン

### 2017年度の主なチャリティ支援(大丸松坂屋百貨店)

(単位:千円)

支援先	支援内容	寄付金額
日本赤十字社 「私たちは忘れない。～未来につなげるプロジェクト」	復興支援プロジェクトへ協賛し、WEB告知、啓発バッジの着用、車両ステッカーの掲示とともに店頭、従業員施設で募金を実施し全額を寄付	114
東日本震災で被災した子どもを支援するための育英基金	東北支援「日本に笑顔を」の趣旨のもと「さくらバンド生誕10周年記念チャリティピンバッジ」販売金の一部を寄付	1,699
認定NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会	LOVE49キャンペーンによる募金活動、オリジナルエコバッグの販売収益金の一部などを子宮頸がん予防啓発活動支援金として寄付	288
各地区 ピンクリボン支援団体	オリジナルピンバッジ、ハートバン、ピンクリボンラッピング自販機による飲料の販売収益金の一部などを乳がん予防啓発活動支援として寄付	1,081
熊本地震災義援金	「さくらバンド生誕10周年記念チャリティピンバッジ」販売金の一部を義援金として寄付	992
認定NPO法人 TABLE FOR TWO International	ヘルシーなメニューの売上金の一部を開発途上国の給食支援として寄付	311
認定NPO法人 世界の子どもに ワクチンを 日本委員会	クリスマスプロモーション「未来のバトンリレー」チャリティ企画におけるロブ・ライアン氏の原画オークション落札全額、ハッシュタグ投稿連動募金、スペシャル動画の再生回数連動募金などを寄付	1,126